

きたすま

わたしたちは主イエス・キリストの現れを待ち望んでいる
(コリント1・7)

No.209(12月号)

2020年11月29日発行
発行 カトリック北須磨教会
〒654-0151
神戸市須磨区北落合2-3-1

発行人 高橋 聡
編集 広報委員会

巻 頭 言

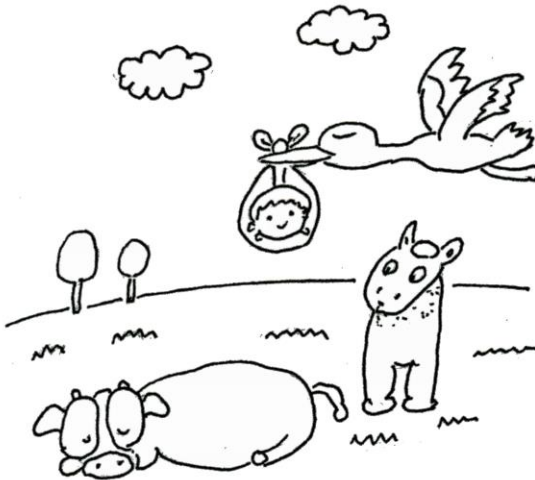
中川 明神父

「空の空、空の空、一切は空である」。これは、旧約聖書の「コハレトの言葉」の冒頭で虚無感^{たじ}が滲みます。ただ、「空」と訳されたヘブライ語は、「空しい」という意味とともに、「束の間」とか「儂い」との別の意味もあり、「儂い」から「空しい」とも言いますが、「儂い」からといって総てが「空しい」わけではありません。例えば、春の恒例行事の花見で、桜はあという間に咲き誇りますが、あという間に散り、この散り際の、春風に舞う花吹雪に身を任すと、夢のような独特の世界に誘われます。桜はとて「儂い」「束の間」の出来事ですが、だからといって「空しい」とは言い切れません。「儂い」からこそ素晴らしいこともあるのです。

聖書には、「儂さ」を前向きに受けとめる姿勢があります。詩編103篇14節は、人間の弱く儂いことは「憐み深い神」の望みであり、「儂さ」は豊かだと述べています。確かに、人間は「儂

い」からこそ互いに助け合い、交りが生まれます。

12月、クリスマスで祝うのは可愛い「赤ちゃん」で、それは、「儂さ」に豊かさがあるからでしょう。クリスマスでは、「儂さ」が初める不思議を思い巡します。



秋の遠足

11月5日(木)、高齢者支援委員会主催の秋の遠足「しあわせの村の紅葉狩り」が開催されました。良いお天気に恵まれ、21人の参加がありました。

紅葉と菊の花がきれいな日本庭園に大きなレジャーシートを敷き、ソーシャルディスタンスを保ち、高橋神父様のお祈りで始まりました。マスクを着用したままでしたがギター伴奏で久しぶりに聖歌を歌い、素敵な歌声が日本庭園に響きわたりました。待ちに待ったお弁当は、秋の味覚満載でとても美味しくいただきました。昼食後は手作りの歌集を手に、秋の唱歌と聖歌を数曲歌い、次にゲーム大会を楽しみました。「隣の隣の自己紹介」では、最後に順番が回ってきた神父様が、参加者21人全員のお名前を紹介をしてくださいました。「後出しじゃんけん」「ピン・ボン・パンゲーム」では、笑いが絶えないまま勝敗がつき、勝者には神父様からお菓子をいただき、皆さん嬉しそうでした。最後に紅葉を背景に、記念写真を撮りました。コロナ禍ということでマスクを着けたままの写真と、外した写真との2枚を撮っていただきました。秋の日差しを浴びて、皆さんの笑顔が一段と輝いていました。

来年は、マスク無しで開催されることを願っています。

(T・M)



私の幼少時の記憶は、手術台の上で病院中にも聞こえそうな大声で泣き叫んでいるところから始まっている。長時間の手術が終わって、全身から湯気を立てて、しゃくり上げながら手術台の上に呆然と座っていた。窓の外には夕暮れが迫っていて、雪が後から後から降っていた。頭を繻帯でぐるぐる巻きにされ、手術室を出ると、祖母が出迎えてくれた。入院室は小ぢんまりとした日本間で、そこに祖母が私と一緒に、何日か長い間住み込み、毎日私のすべての面倒をみてくれた。

当時わが家は七人の大家族であった。炊飯器、電子レンジ、洗濯機などなかった時代で、母と祖母は毎日、家事で大変であつたろう。病院は現在の北朝鮮、江原道元山の、大きな道立病院であった。二才と九か月の時であった。

二年ほどして我が家はソウル京城(ソウル)へ引っ越した。手術した右耳は完全に癒されていたが聴力はなかった。左耳は慢性中耳炎で、治療が欠かせなかった。京城の耳鼻科の医院は家から歩いて十五分、路面電車で三つ目の停留所、また歩いて十分ほどのかなりのみちのりで、それを往復して、その時も祖母が連れて行ってくれた。小学校に上ってからそれは続いたが、後では医師から簡単な手当の仕方を祖母が教えてもらって、時々仮の処置、手当をしてくれた。

私が中二の夏、引き揚げで一家は熊本のかんりの田舎へ移った。二人の兄も無事復員して来た。兄たちは一年ほど田舎で農作業をしていたが、都会へ出て行った。父は久留米市郊外に小さな果樹園を持つ年老いた母がいたが、手助けする人が一人もいず、その面倒を見るために久留米に時折行っていたが、そこへ通うだけでも一日かかり、結局は、時たま熊本に帰って来るだけになった。残りの私たちも四年後には熊本市に出た。私は当時普及し始めていたテレビの技術を学びに一時上京していたが、戻って来てテレビを扱う会社に勤めていた。

その頃、神の不思議な御はからいがいつくかつながって、私は教会に導かれ、洗礼を受けた。25才のときであった。

またその頃、祖母の具合が悪くなり、床についていた。ある日ふと見ると、横向きに枕をしていた顔が土気色であった。驚いて声をかけても反応がない。これは危ないと思った。受洗間もない私はすぐに公教要理の本を取り出し、水、タオルを用意して、要理の本に書かれている通りの祈りを唱えながら祖母の顔にそっと水を注いだ。じっと見ていると、全く反応のなかった祖母の、閉じたままの両の目から溢れて来た涙が一つの筋になって流れ落ちた。私は驚いた。意識は全くないとばかり思っていた祖母の内側で何かが反応したのだ。私はすぐに立ち上がり、教会に急いで行き、主任神父様に会って事情を話し、すぐに来て神父様の手で洗礼を授けてくださいとお願いしたところ、「いや、行く必要はありません、それでよいのです」と言われた。私はひとまず安心して帰って来た。祖母は二日とたたずに亡くなった。

我が家は仏教であったが、葬儀はカトリック教会で、と家族にお願いすると、皆同意してくれた。熊本の手取教会で、小さな集まりであったが、優しく祖母、お世話になった祖母のために心から祈った。母は聖堂内の左側に、幼きイエズスを左手で抱いたマリア様の、ほぼ等身大の立像の前で、母の母である祖母に長いこと祈っていた。

その頃、聖堂の前の庭に一人でいたところ、米国人の神父様がにこにこしながら近づいて来られ、「御存知でしょう、今マリスタのブラザーたちが来て、カトリックの男子校の建築を始めているよ。その校長さんが、誰か信者の青年を一人事務員に紹介してもらえないかと頼まれているんだけど、あなたはいかがですか」。私はすぐに「はい」と答えた。カトリックの学校で働けると聞いただけで、嬉しかったのだ。校長にもお会いして、すぐ建築中の学校に通い始めた。仕事は初めの頃は事務というより用務の仕事が多く、新しい机、椅子、その他の備品、搬入、整理、ペンキで番号記入と忙しくしている内に一年が過ぎ、入試、入学式、新学期も過ぎたある日事務の仕事をしていると、校長から、修道士にならないかと聞かれ、即座に「はい」と答えた。受洗以来毎日のように「キリストに倣いて」を読んでいたその影響で、自然に答えが出たのだ。九月に入ると、また校長が私を呼び止めて、「修道士になるには、修練院に行かねばならないけど、それが日本にはない、米国にあります、あなた行きますか」。これには驚いたが、それでも「はい」とためらわずに答えた。「キリストに倣いて」の影響もあったが、また引揚げ以来、初体験なら幾つか経験してきた。言葉での苦勞のことはすぐ頭に浮かんだが、何とかなる、きっとやり通せる、二年間の辛抱だ、とすぐ決心はついた。母にもそのように伝えた。

その母は、妹の小さな男の児を一時あずかっていたことがある。近くに「幼きイエズス会」の幼稚園があった。ある日そこに運動会か何かあって、男の児を抱いて行って見ていると、母より少しお年上ぐらいのシスターがニコニコと笑顔で迎えてくださり、話を交わしている内に、教理の勉強を始めることになった。母は近所の親しいおばさんも誘って、二人でシスターの講座に通い始め、そして何か月か後に二人揃って洗礼を受けた。受洗の日、手取教会の前の庭で撮った、シスター、母、母のお友達、私もついでに入った写真が今も手元にある。

渡米の日が近づいて、東京に出て一度乗り継ぎをして、米国東部のボストン空港に着くと、修練院長の迎えの車で西に向かって夜の暗い道を一時間半ほどひたすら走り、目指す修道院に着いた。よほど心も体も疲れていたのだろう、翌朝、誰かに揺り起こされるまで目が覚めず、覚めた時には昼近くになっていた。

修練院は一年生が志願者、二年生が修練者で、合わせて四十数名。私は数日遅れて着いたので、修練院の生活はもう始まっていた。私はうろろうろしていた。言葉も速すぎて殆ど聞き取れない。場所が分からない。あれもこれも分からない。聞いてみると、親切に教えてくれる。修練院の生活は始まったばかりだった。

評議会より

☆クリスマスのミサ☆

クリスマスミサに与るアンケートへのご協力ありがとうございました。

結果はご希望通りの日となります。どちらでもいいと記入された方は24日（木）にお願い致します。

後日レターケースにご記入いただいた用紙を入れます。確認お願い致します。



お知らせ

☆転入されました☆

埼玉 松が峰教会から
6B地区へ
YYさま

ようこそ北須磨へ！

☆転出されました☆

4地区 C・Pさま
たかとり教会へ

4地区 WMさま
WYさま
加古川教会へ

どうぞお元気で！

☆この1年で帰天された方☆

11月15日のミサでこの1年に帰天された方のために共同祈願でお祈りいたしました。

この1年に帰天された方

ヨハネ KMさん 2019.11

ペトロ MMさん 2019.11

洗者ヨハネ FKさん 2020.1

クリスティーナ MRさん 2020.2

ヨゼフ KAさん 2020.2

☆恒例行事の中止☆

コロナウィルス感染対策のため、例年行われてきた、行事が中止となっています。

- ・北須磨教会 クリスマスキャロル
- ・神戸地区 チャリティコンサート

また、12月の炊き出しは感染急増を受けて弁当配布に変更になります。北須磨でのおにぎり作りはありません。

☆神戸地区評議会開催☆

コロナウィルスの感染拡大を受けて中止されていた神戸地区評議会が9月13日（日）六甲教会にて開催されました。新地区長アルフレド神父と各小教区からは1人のみの参加という小規模での開催でした。議事内容については掲示板をご覧ください。

編集後記

コロナウィルス関連ワード★
「3密」「消毒」「2020東京」「マスク」「濃厚接触」「リモート」「医療従事者」「給付金」「クラスター」「ロックダウン」「GO TO」「自粛」★目まぐるしい1年でした。

マンスリースケジュール12月

2020



日・曜日

12/1 火
2 水
3 木
4 金
5 土

6 日 待降節第2主日 ミサ10:00～ 第1・2地区

7 月
8 火
9 水
10 木
11 金
12 土

13 日 待降節第3主日 ミサ10:00～ 第5・6B・7地区

14 月
15 火
16 水
17 木
18 金
19 土

20 日 待降節第4主日 ミサ10:00～ 第3・6A地区

21 月
22 火
23 水
24 木 主の降誕(夜半のミサ)18:30～
25 金 主の降誕 ミサ10:00～
26 土

27 日 聖家族 ミサ10:00～ 第2・6B・7地区

28 月
29 火
30 水
31 木

1/1 金 神の母マリア ミサ10:00～ 第1・3・4地区

2 土

3 日 主の公現 ミサ10:00～ 第5・6A地区

カトリック北須磨教会ホームページ <http://cathkitasuma.web.fc2.com>

葬儀用電話の運用は終了しました。緊急時は高橋神父(090-6329-5709)にご連絡ください。